



2012年度 決算説明会

2013年6月7日

新関西国際空港株式会社



I 2012年度の決算概要 及び 弊社事業の現状について

代表取締役社長兼CEO 安藤 圭一

II 2012年度の決算詳細 及び 2013年度の資金調達について

常務取締役兼常務執行役員 竹嶋 孝育

III 質疑応答



I 2012年度の決算概要 及び 弊社事業の現状について

1-1. 空港運営の概況



	関西空港			伊丹空港		
	2011年度	2012年度	前年比	2011年度	2012年度	前年比
航空機発着回数 (万回)	10.8	12.9	119.4%	12.3	12.8	103.8%
国際線	7.7	8.5	110.7%	—	—	—
旅客便	6.1	7.0	115.6%	—	—	—
貨物便	1.5	1.4	92.3%	—	—	—
国内線	3.1	4.4	140.7%	12.3	12.8	103.8%
航空旅客数 (万人)	1,386	1,680	121.2%	1,291	1,315	101.8%
国際線	1,011	1,142	112.9%	—	—	—
日本人旅客	694	724	104.3%	—	—	—
外国人旅客	276	382	138.4%	—	—	—
通過	42	37	88.1%	—	—	—
国内線	375	538	143.4%	1,291	1,315	101.8%
貨物量 (万トン)	71.2	68.7	96.5%	11.3	12.0	105.7%

1-2. 経営成績(連結損益計算書)の概況



(単位: 億円)	関西空港				伊丹空港		
	2011年度	2012年度	増減	前年比	2011年度	2012年度	新関空でのシェア
営業収益	883	922	39	104.5%	—	95	12.1%
空港運営事業	581	608	28	104.8%	—	85	15.7%
商業事業	262	276	14	105.4%	—	10	4.7%
鉄道事業	41	38	▲ 2	94.4%	—	—	—
営業費用	705	707	2	100.3%	—	43	7.3%
営業利益	178	215	37	121.1%	—	53	25.2%

(注1) 2012年度の関西空港分は、旧関西国際空港(株)連結(4～6月)を加算。

(注2) 2012年度の伊丹空港分は、2012年7月～2013年3月迄の9ヵ月分。

1-2. 経営成績(連結損益計算書)の概況



(単位: 億円)	2011年度	2012年度	増減	対前年比
営業収益	883	1,018	135	115.3%
営業費用	705	750	44	106.3%
営業利益	178	268	90	150.8%
経常利益	90	180	91	201.3%

(注1) 2012年度の関西空港分は、旧関西国際空港(株)連結(4~6月)を加算。

(注2) 2012年度の伊丹空港分は、2012年7月~2013年3月迄の9ヵ月分。



2-1. 中期経営計画

～目指す空港像と基本コンセプト～(2012.7.13発表「経営戦略」)～

目指す空港像 「ワンエアポート」で、世界に開かれた、アジアのリーディングエアポート

基本コンセプト 「空を変える。日本が変わる」 空港のビジネスモデルの変革

3つのキーワード

「安全・安心を大前提として、」

「カスタマーズアイ」顧客目線で、

「シナジー」両空港の価値を最大化し、

「クリエイティブ」新たな課題に果敢に挑戦。

3つの戦略

航空成長戦略

ターミナル成長戦略

経営効率化戦略

3つのステップ

STEP1.

補給金によらない自立した経営

STEP2.

事業価値の最大化

STEP3 コンセッション

(完全民間運営化)

成長目標

[2014年度]

発着回数	30万回
旅客数	3,300万人
貨物量	100万トン
営業収益	1,500億円

2-2. 中期経営計画 ～計画のポイント～



「新関空モデル」

日本初の空港ビジネスモデルにより
アジアのリーディングエアポートを目指した成長を実現
～「空を変える。日本が変わる。」ための TAKE OFF ～

国家的戦略プロジェクト（日本初の試み）

国の基幹インフラにおける民間主導の経営とコンセッションによる民間資金の活用

- 土地保有と運営の分離
- 民間主導の徹底
- 複数空港の運営
- 航空系事業と非航空系事業(商業事業)との一体化
- コンセッション(公共施設等運営権)の設定

新しい取組み

カスタマーズ ・アイ

- ・利用者、エアラインなどの目線に立った料金設定
- ・お客様満足度を向上させるための快適性の追求など

料金戦略

- ・11年ぶりの着陸料引下げ
- ・新規需要の成長をサポートする増量割引の複数年化
- ・伊丹空港における低騒音機導入促進料金など

LCC ターミナル

- ・我が国初のLCC専用ターミナル(第2ターミナル)の整備・運営
- ・LCCの更なる成長をサポートするための第3ターミナルの整備

貨物ハブ

- ・FedEx社北太平洋地区ハブに向けた貨物施設の整備
- ・更なるエアライン・フォワーダーの拠点誘致など

ローコスト オペレーション

- ・民間的手法の徹底、経営統合のシナジー効果などによる施設運営費の削減
- ・空港運用の体制見直し(マルチオペレーション)など

環境先進空港 (スマート愛 ランド構想)

- ・クリーンエネルギー、再生可能エネルギーの活用促進
- ・低騒音・低排出機材の導入促進など

国際事業 展開

- ・新関空モデルの国内外への情報発信
- ・コンサルティング等の海外事業の展開など

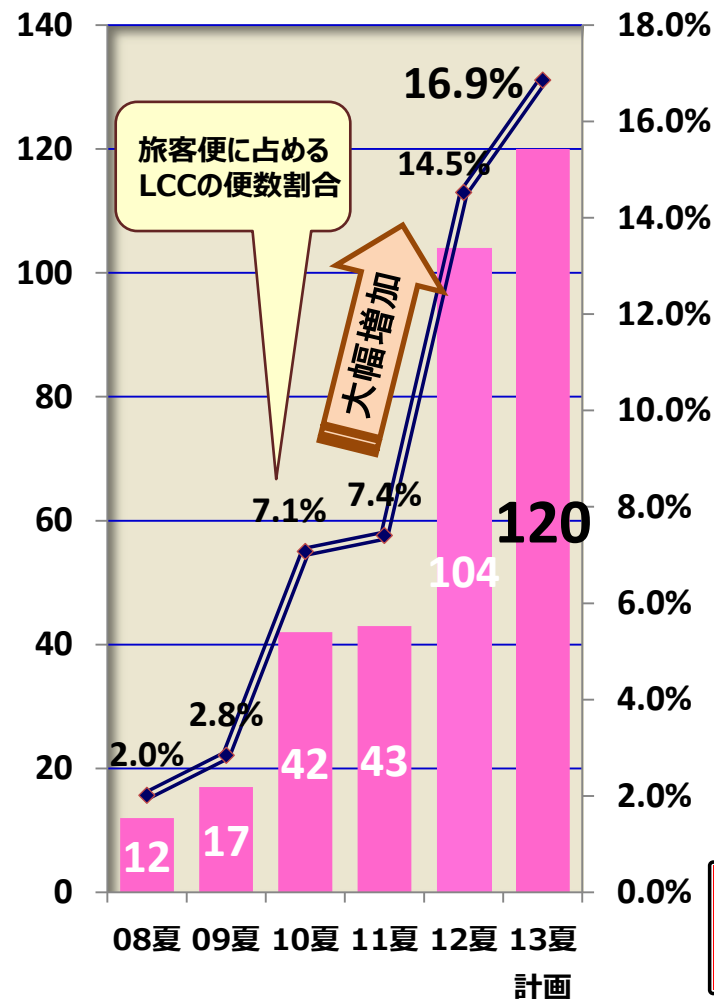


2-3. 中期経営計画(LCC事業への取り組み①)

～2013年国際線・夏期スケジュールにおける関空への就航状況～

関空での国際線LCC便数推移

(便/週)

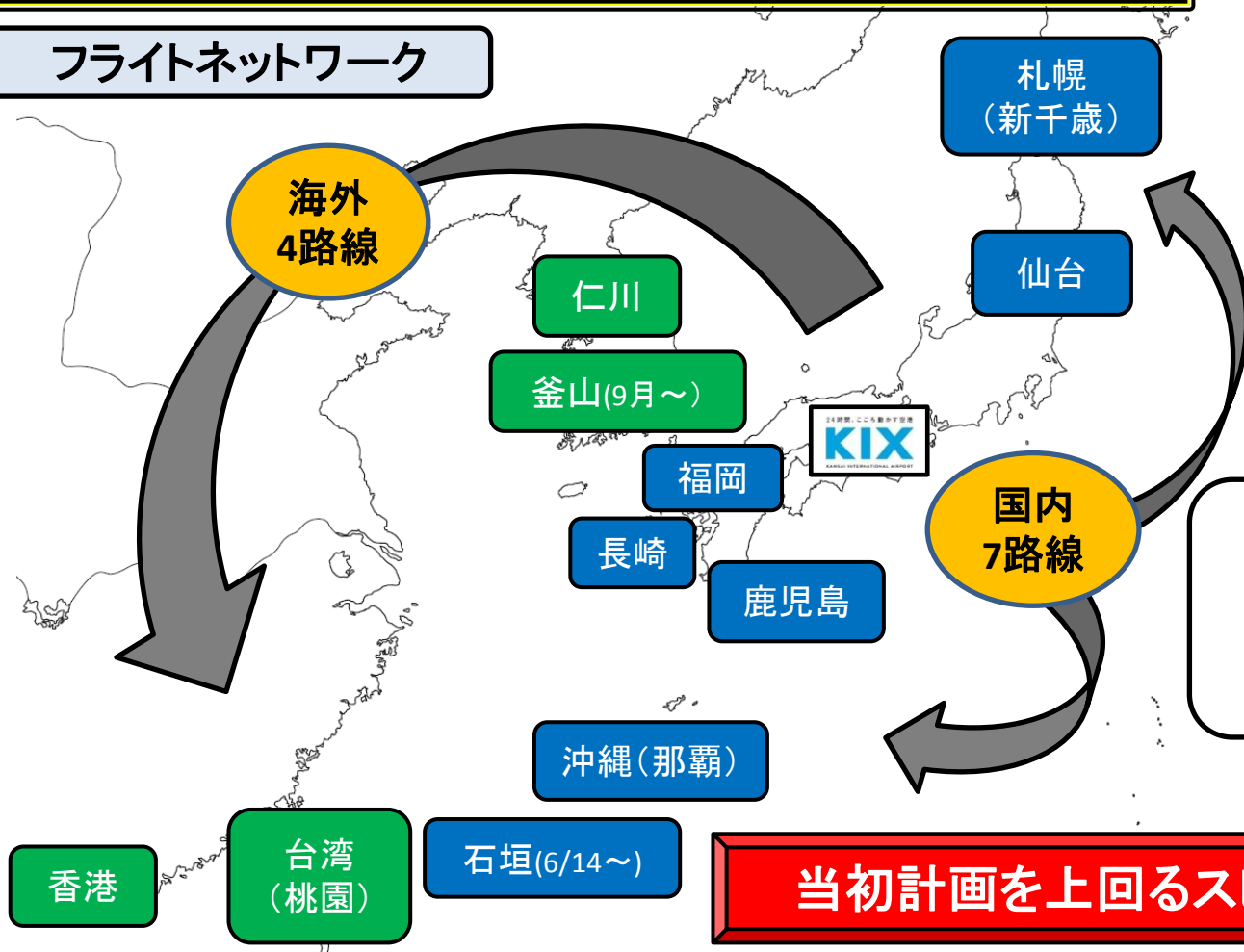


2-4. 中期経営計画(LCC事業への取り組み②) ～拠点型LCCの就航実現～



**2012年3月1日、日本初の拠点型LCC
「ピーチ アビエーション」が就航を開始！**

フライトネットワーク



Copyright © Peach Aviation株式会社

就航から9カ月で、
搭乗者100万人突破！

さらに

2013年下期以降における
使用機材の追加導入決定！
就航から1年2カ月で、
搭乗者200万人突破！

当初計画を上回るスピードで需要が増大！

2-5. 中期経営計画(LCC事業への取り組み③) ～拠点型LCCの就航に向けた新ターミナルの整備～

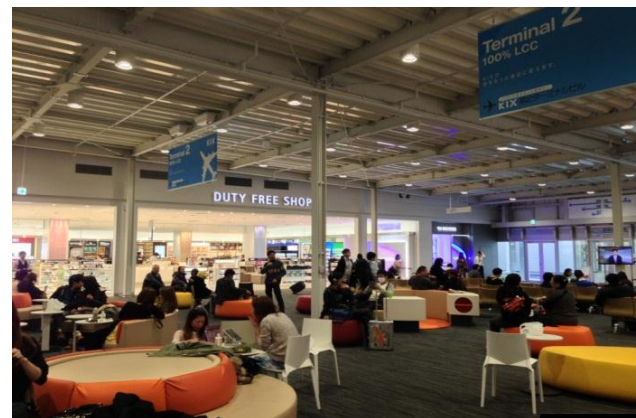


「機能性・経済性・安全安心」を
コンセプトに、
2012年10月28日オープン！

天井が無く、非常に簡素な内装。
旅客ロビーには、店舗や椅子等を多く
設置し、高い利便性を提供。

延床面積は約3万㎡。
国内・国際共用で、一部二階建。

搭乗橋や航空機の牽引車を設置せず、
ピーチ社のコスト負担を極力抑制。

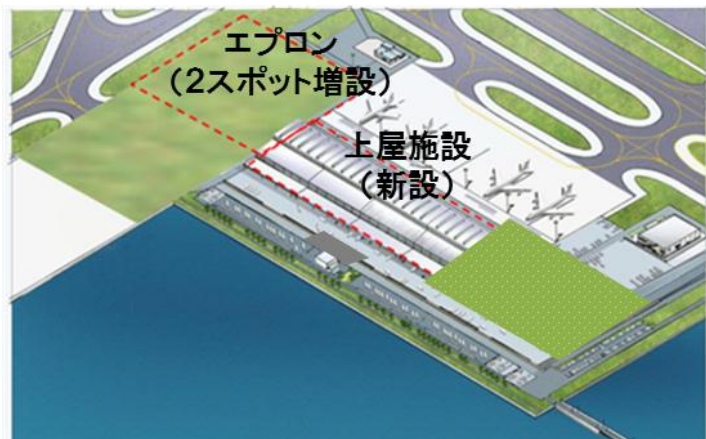


2-6. 中期経営計画(貨物ハブに係る取り組み) ～大手インテグレーターによる関空での北太平洋地区ハブ設置～

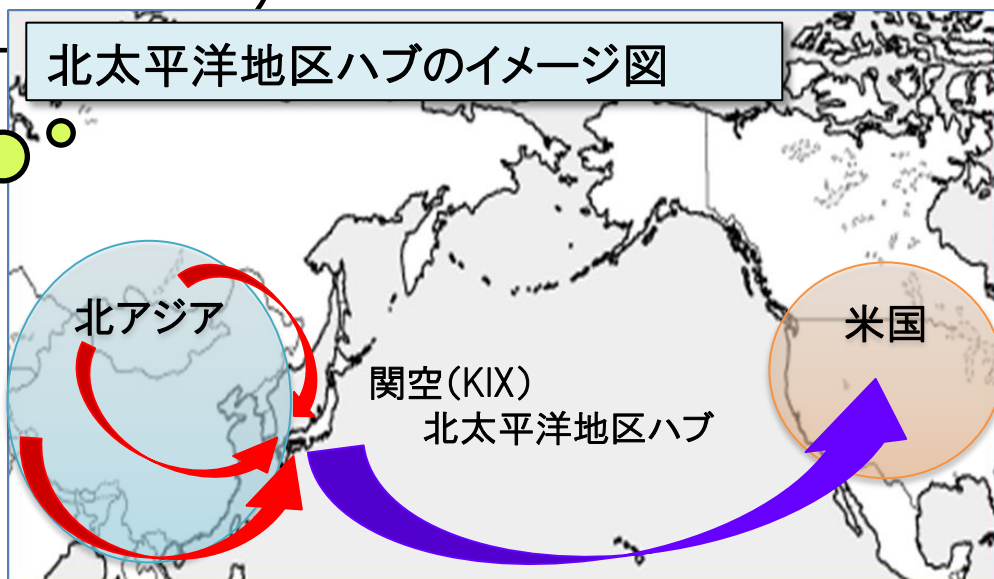


施設概要

- 延床面積
約25,000㎡
(底下面積除く)
- 可能駐機数
最大7機
- 貨物仕分け能力
毎時9,000個
- 業務内容
通関業務、ランプオペレーション、
仕分け・積み替え業務
- オペレーション体制
24時間
- オペレーション開始時期
2014年春頃



北太平洋地区ハブのイメージ図



北太平洋地区ハブとは・・・
北アジアから貨物を集約し、
米国向けに
発送するための拠点

2-7. 中期経営計画(「魅力ある商業エリア」の創造)



**航空需要の伸びを確実に商業系売上に繋げるとともに、
利用者の利便向上を図るための機能強化を図る。**

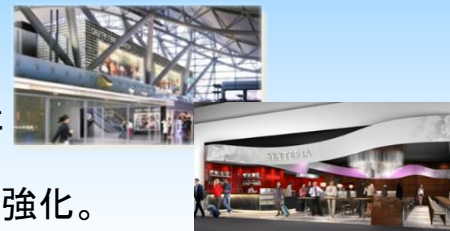
大阪国際空港ターミナル(株)(OAT)との連携等による収益力強化

- ・関西国際空港産業(OATグループ)、関西エアポートエージェンシー(NKIACグループ)双方の強みを活かした事業連携。
- ・免税事業の直営化推進等により原価率の低減と在庫管理業務などオペレーションの効率化を実現。
- ・商品、販売、システムを通じた商品販売(MD)戦略を強化。



魅力ある商業エリアの創造とインバウンド旅客の取込み

- ・免税店舗の大幅増床、インバウンド旅客をメインターゲットとした店舗展開により、高収益である免税事業を伸展。
- ・LCCターミナル開業によって生じる新たなマーケットにおいて、顧客ニーズに対応した店舗展開・LCC対応の低価格ホテルの整備。
- ・海外旅行代理店やクレジットカード会社等と連携し、インバウンド旅客の取込みを強化。



伊丹空港ターミナルビルの改修

- ・施設の老朽化に伴う機能維持を図り、航空会社・利用者のニーズに応える観点から、大阪空港ターミナルビルを改修し、都市型空港としての利便性を確保する。



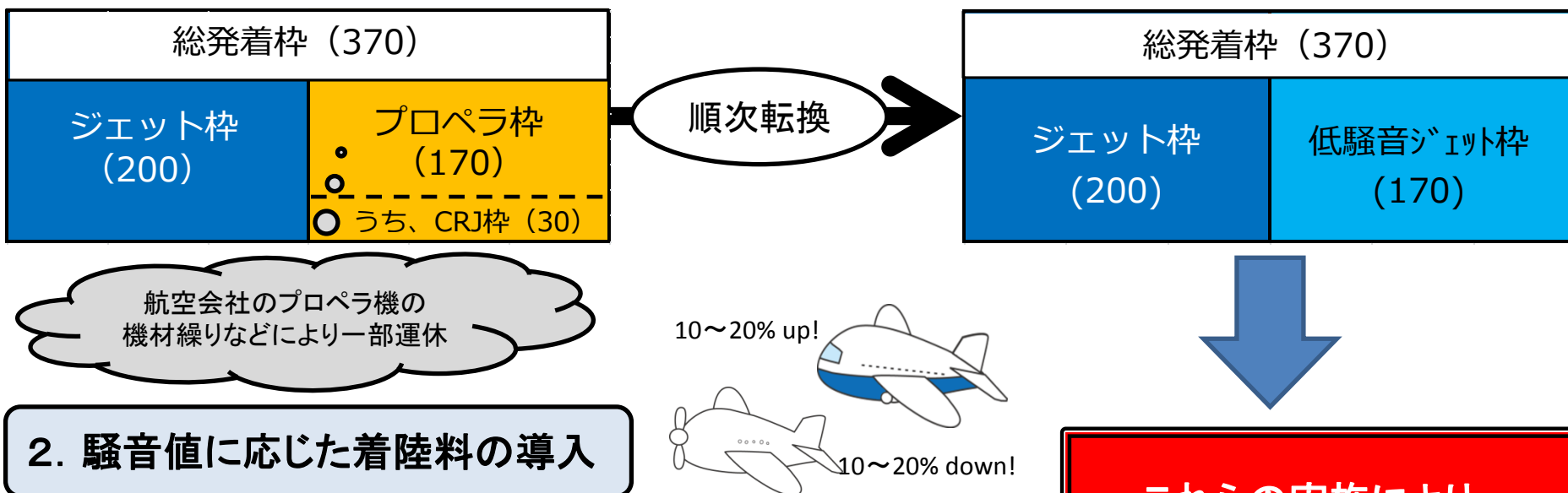
【目標】 関空の商業事業収入25%増(2011年度比)

2-8. 中期経営計画(伊丹空港に係る取り組み)



1. プロペラ機発着枠の低騒音ジェット機発着枠への転換

・伊丹空港の定期便発着枠370枠のうち、一部運休していたプロペラ機用の170枠を、騒音値の変化の状況をモニタリングにより把握しつつ、低騒音ジェット機も利用可能とするよう、本年3月下旬から順次転換。



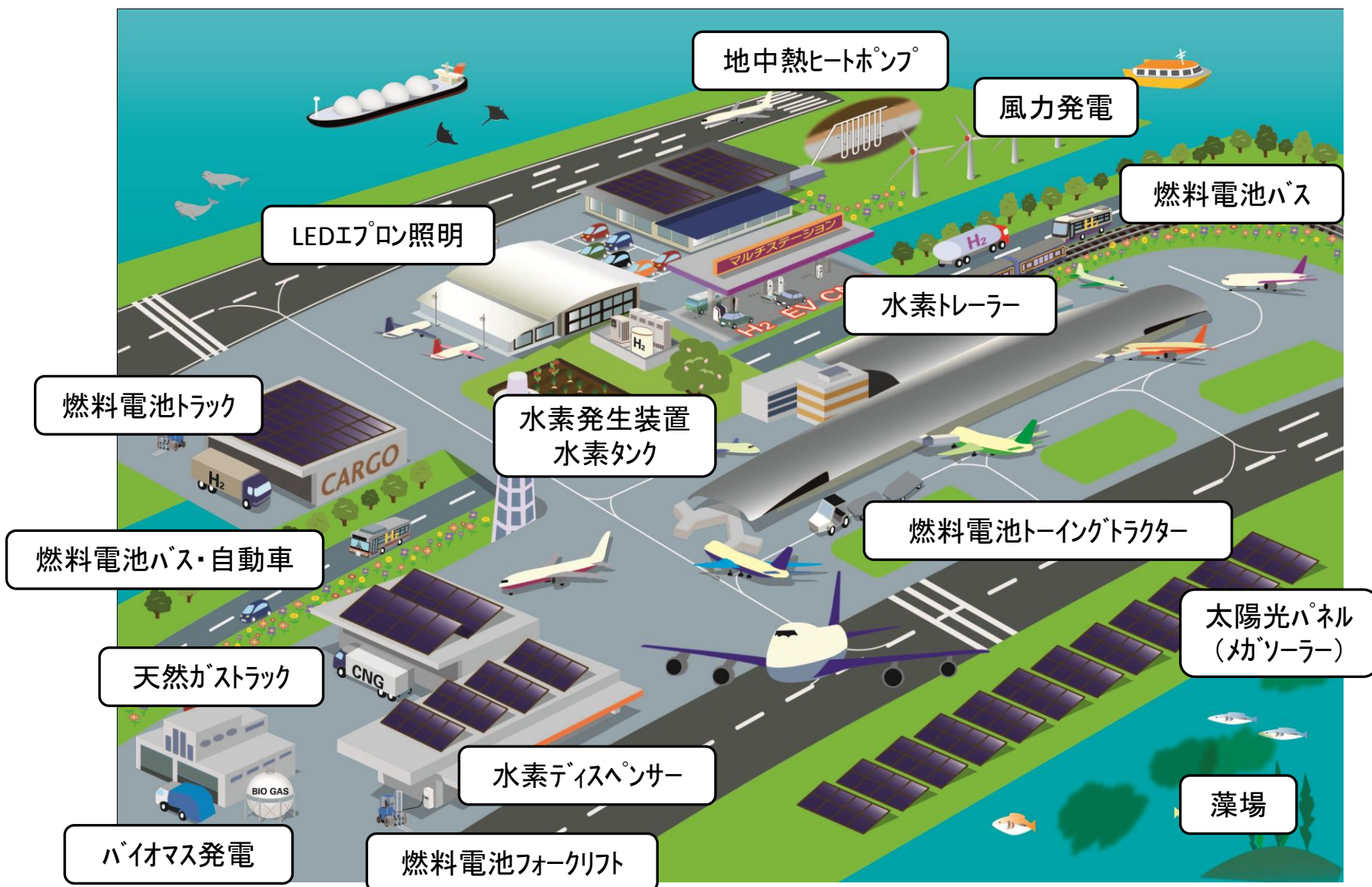
2. 騒音値に応じた着陸料の導入

・伊丹空港を離発着する旅客便について、機材毎の騒音値(実測値)の大きさに応じた一定の係数(0.8~1.2)を既存の料金に乗じたものに改めることで

高騒音機材の着陸料を値上げするとともに、
低騒音機材の着陸料を値下げする着陸料を
本年3月下旬より導入し、低騒音機材への代替を促進。

これらの実施により、
周辺環境に配慮しながら、
伊丹の事業価値の
最大化を図る！

2-9. 中期経営計画(環境先進空港・スマート愛ランド構想) ～スマート愛ランド推進計画～



2-10. 中期経営計画(環境先進空港・スマート愛ランド構想) ～KIXメガソーラー事業の展開～



**関空の2期島に、アジアの空港で最大級となる
大規模太陽光発電施設（メガソーラー）の建設が決定！**

- ・B滑走路横の土地と貨物上屋、
合計約12万㎡の広さ(東京ドームの約2.6倍)に、
計72,000枚の太陽光パネルを設置。
- ・本年半ば頃から着工し、来年初めの稼働を
目指す予定。



年間 約4,000トンの
CO2削減も！

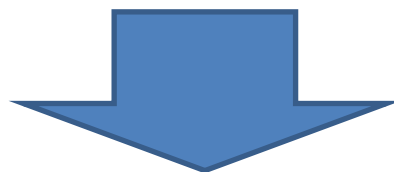
年間 1,200万kWhの発電量を想定！
(約4,100世帯分の一般住宅 年間使用量相当)



2-11. 中期経営計画(国際事業展開)

国際事業展開

- ・専任部門として、「国際・事業連携室」を設置。国際空港評議会(ACI)などの国際関係機関への積極的な参加や、国内外空港へのアドバイザー業務展開等を実施。
- ・本年4月12日、関西空港とゴールドコースト空港(豪州)の両空港間において、「戦略的提携に関する覚書」を締結。LCCの発展や環境先進空港といった、共有する空港戦略の成長による事業価値の向上に向け、提携関係を構築。
- ・また、我が国からのコンソーシアムの一社として、ヤンゴン空港拡張プロジェクトへの入札にも参加。



**「中期経営計画」の着実な達成による
事業価値の最大化**

2-12. 中期経営計画(中期経営計画関連のトピックス)



「Low Cost Airport of the Year」受賞！

- ・本年1月、国際会議運営会社「Terrapinn社」が主催する、アジア地区におけるLCC関連企業や事業等を表彰する「Budgie\$ & Travel Awards」において、弊社が、
「Low Cost of the Year」を受賞！
- ・弊社の積極的なLCC関連の企業活動が、
国際的に高い評価を受ける結果に！



「Transport Achievement Award」受賞！

- ・本年5月、ドイツで開催されたITF(国際交通大臣会議)において、弊社が**「Transport Achievement Award」を日本初受賞！**
- ・本年のITFのテーマである「交通と資金調達」に関する優れた取り組みが表彰の対象であり、**日本初の拠点型LCCの実現を始めとした、事業価値向上への取り組みが高く評価！**



3-1. 2013年度の連結業績見通し(運営)



	2012年度 実績	2013年度 見通し (中期経営計画値)	増減	前年比
航空機発着回数 (万回)	25.6	28.5	2.9	111.1%
関西空港	12.9	15.0	2.1	116.5%
伊丹空港	12.8	13.5	0.7	105.7%
航空旅客数 (万人)	2,995	3,200	205	106.9%
関西空港	1,680	1,870	190	111.3%
伊丹空港	1,315	1,330	15	101.2%

3-2. 2013年度の連結業績見通し(収支)



(単位:億円)	2012年度 実績	2013年度 見通し (中期経営計画値)	増減	前年比
営業収益	1,018	1,129	111	110.9%
関西空港	922	999	77	108.3%
伊丹空港	95	130	35	136.4%
営業利益	268	277	9	103.4%
関西空港	215	232	17	107.8%
伊丹空港	53	45	▲ 8	85.2%
経常利益	180	130	▲ 50	72.0%
当期純損益	—	79	—	—

(注1) 2012年度の関西空港分は、旧関西国際空港(株)連結(4～6月)を加算。

(注2) 2012年度の伊丹空港分は、2012年7月～2013年3月迄の7ヵ月分。

カスタマーズ
アイ

シナジー

クリエイティブ

「新関空モデル」

そして、

「空を変える。日本が変わる。」



Ⅱ 2012年度の決算詳細 及び 2013年度の資金調達について



1. 経営成績の前年度比較

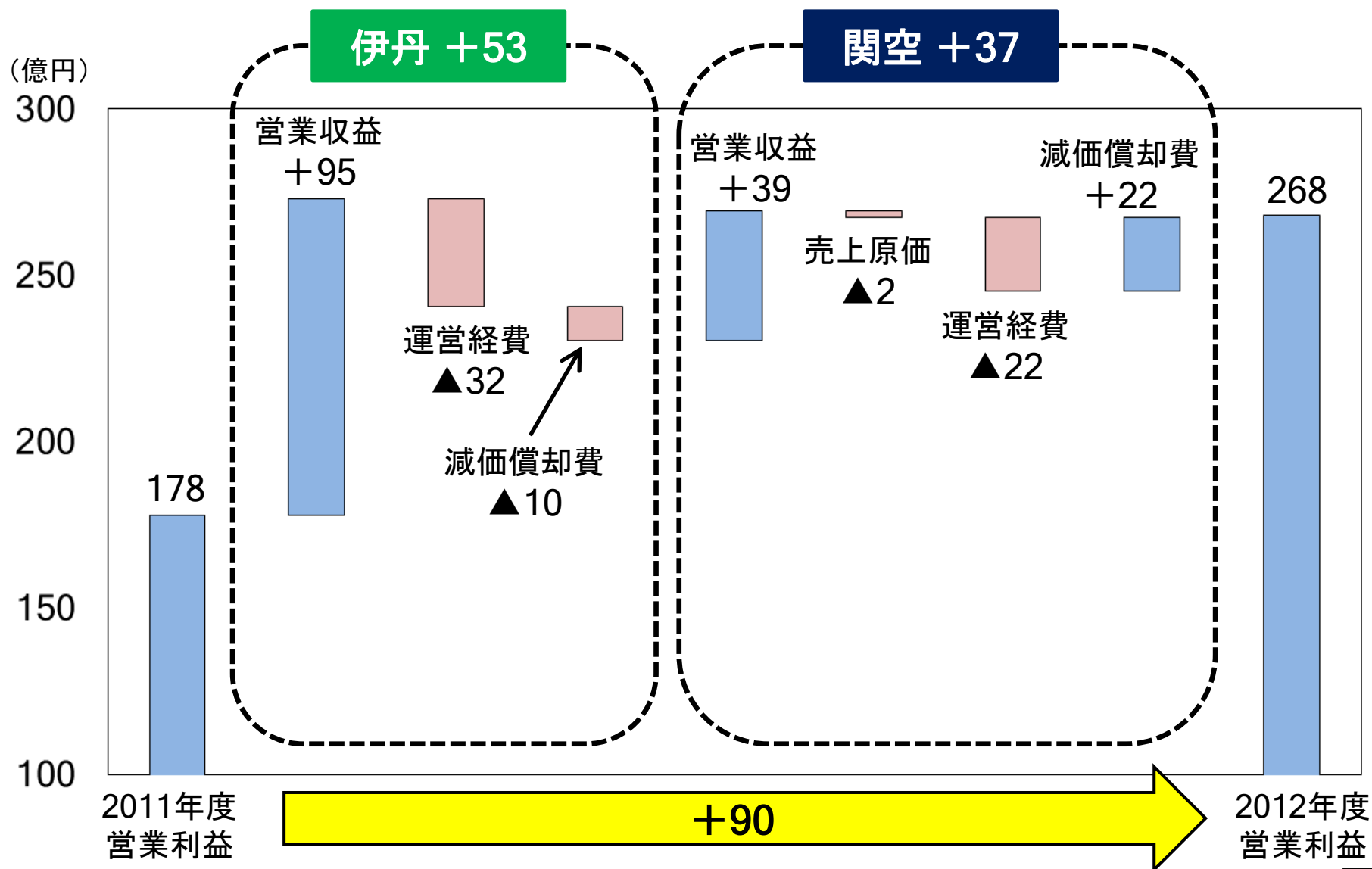
(単位: 億円)	2011年度	2012年度	増減
営業収益	883	1,018	135
空港運営事業	581	694	113
関西空港	581	608	28
伊丹空港	—	85	85
商業事業	262	286	24
関西空港	262	276	14
伊丹空港	—	10	10
鉄道事業	41	38	▲ 2

	2011年度	2012年度	増減
営業費用	705	750	44
売上原価	101	103	2
施設運営等経費	355	410	55
減価償却費	249	237	▲ 12
営業利益	178	268	90
営業外収益	78	72	▲ 6
うち政府補給金	75	69	▲ 6
営業外費用	166	160	▲ 6
うち支払利息	161	157	▲ 4
経常利益	90	180	91

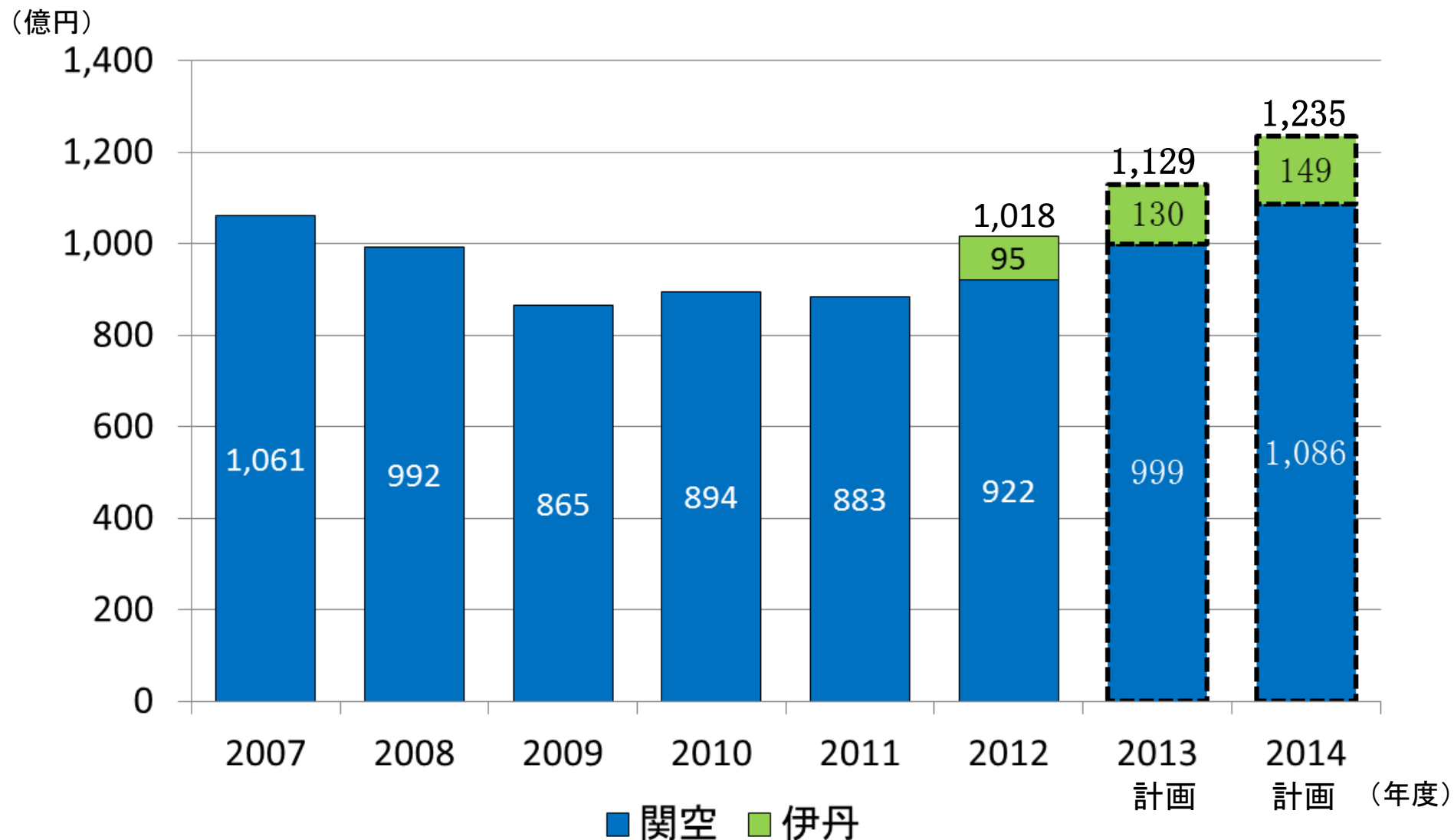
(注1) 2012年度の関西空港分は、旧関西国際空港㈱連結(4～6月)を加算。

(注2) 2012年度の伊丹空港分は、2012年7月～2013年3月迄の9ヵ月分。

2. 営業利益の増減分析



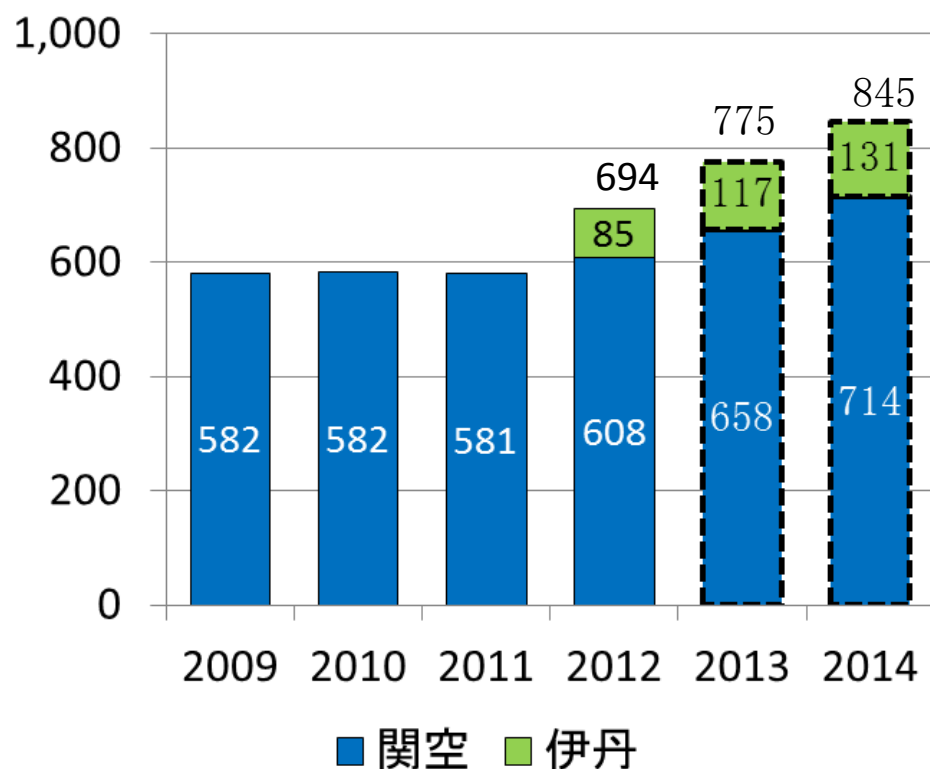
3-1. 営業収益の推移(連結)



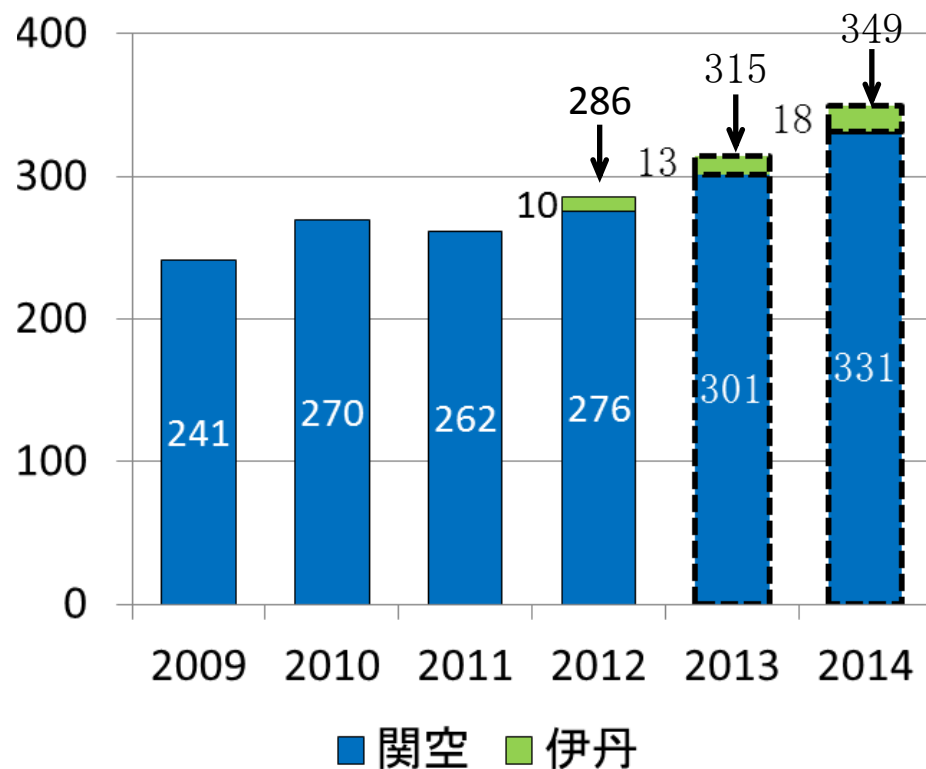
3-2. セグメント別収益の推移(連結)



空港運営事業



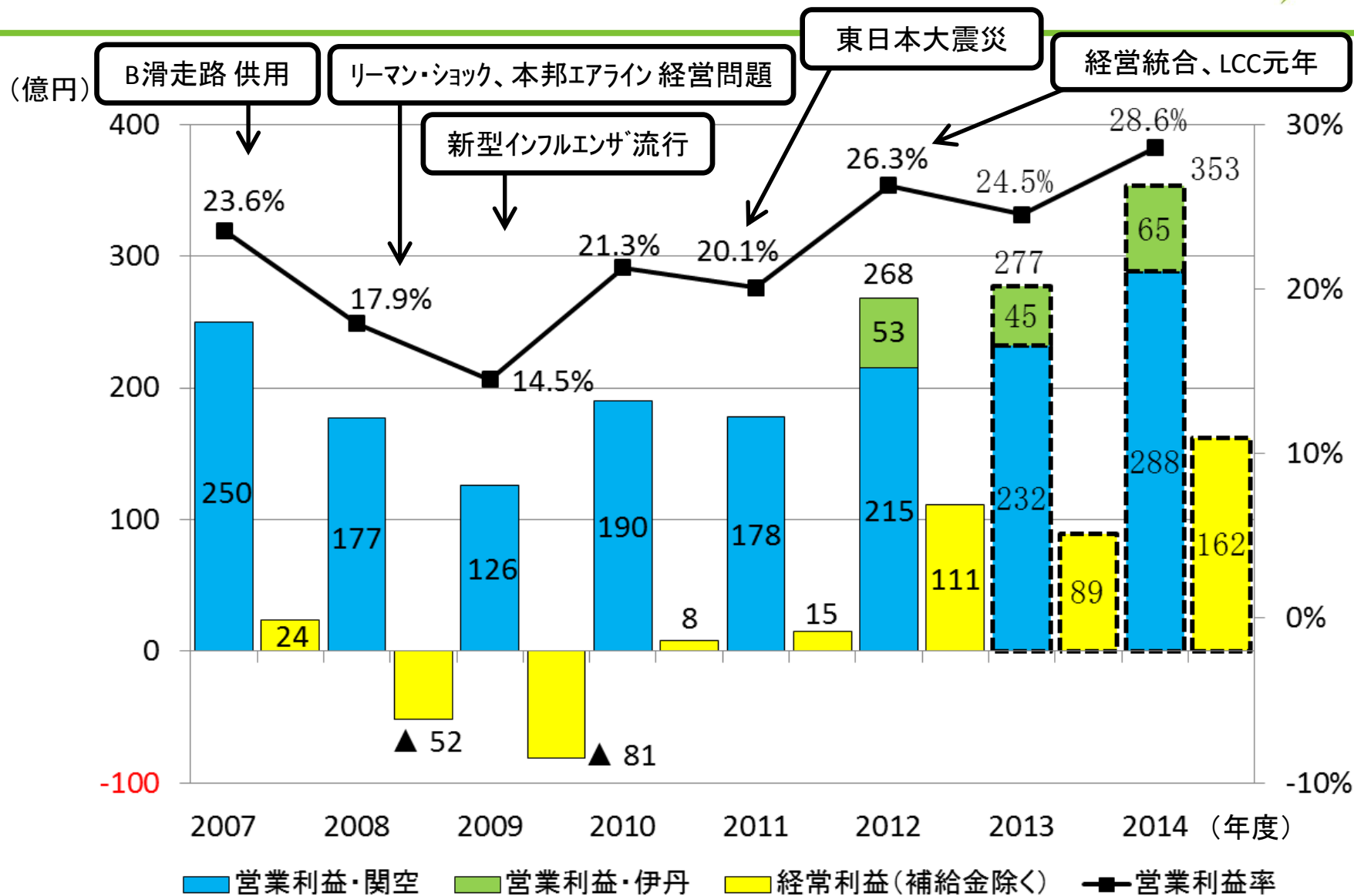
商業事業



(注1) 全て、億円・年度。

(注2) 2013・2014年度は中期経営計画値。

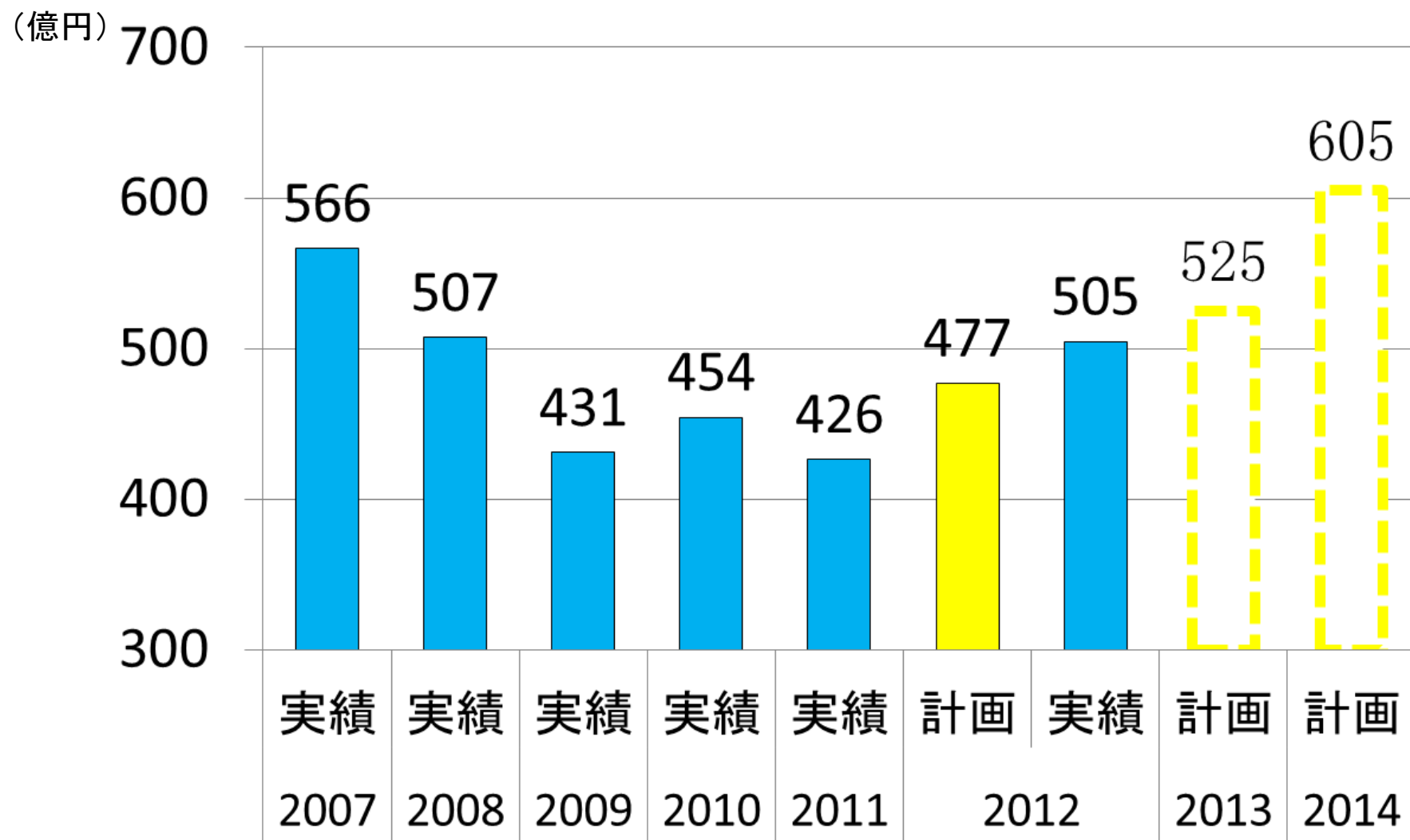
3-3. 営業利益・経常利益の推移(連結)



(注)2013・2014年度は中期経営計画値。



4. EBITDAの推移(連結)



(注) EBITDA = 営業利益 + 減価償却費

(年度)

5. 新関西国際空港(株) 連結損益計算書



(単位: 億円)	2012年度
営業収益	788
営業費用	579
営業利益	209
経常利益	159
特別利益	11
特別損失	241
税金等調整前 当期純損失	▲ 71
当期純損益	▲ 27

(注1) 当社は2012年4月1日に発足したが、経営統合が7月であったため、実質的な空港運営事業は7月より開始。従って、上記の経営成績は、主として7～3月のものとなる。

(注2) 経営統合に伴い、国の資産評価委員会の資産評価により、評価減が発生。

関西国際空港土地保有(株)において、特別損失として、分割移転損失230億円を計上。

6. 財政状態の概要(連結貸借対照表)



(単位: 億円)		2011年度 期末	2012年度 期末	増減
	流動資産	209	265	56
	固定資産	18,571	19,445	874
	資産合計	18,780	19,710	930
	流動負債	1,682	1,661	▲ 21
	固定負債	10,937	10,519	▲ 418
	負債合計	12,619	12,180	▲ 439
	株主資本	6,157	5,504	—
	少数株主持分	4	2,026	—
	純資産合計	6,161	7,530	—
負債・純資産合計		18,780	19,710	—

(注) 2011年度期末は旧関西国際空港(株)、2012年度期末は新関西国際空港(株)。

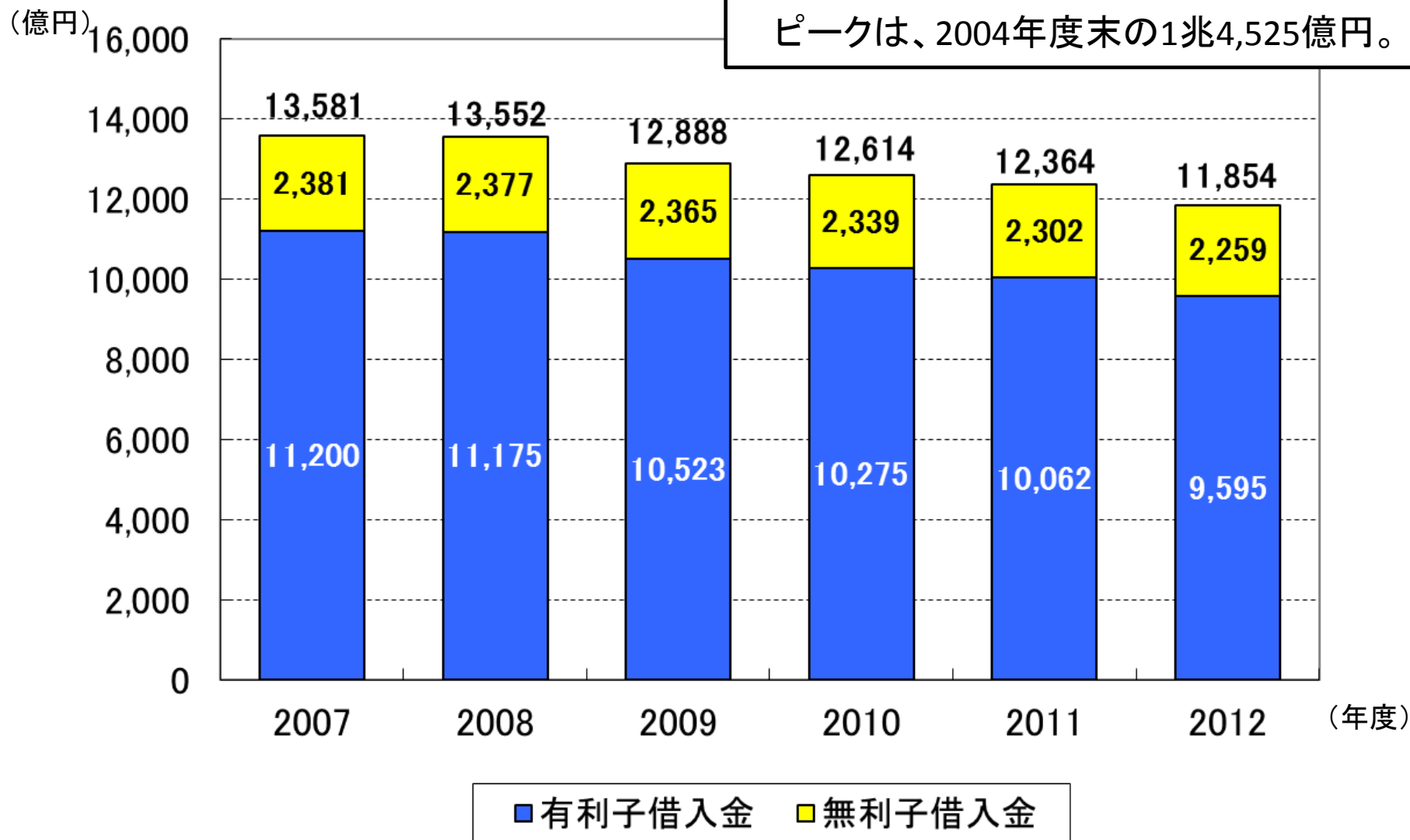
<参考>財政状態の概要(有形固定資産)



(単位: 億円)	関空	伊丹
有形固定資産	17,944	1,426
建物および建物付属設備	1,486	35
構築物	2,087	105
土地	14,204	1,276 (空港内 1,013) (空港外 262)
その他	168	10

(注) 端数処理の関係で、合計が一致しない箇所あり。

7-1. 債務残高の推移(連結)



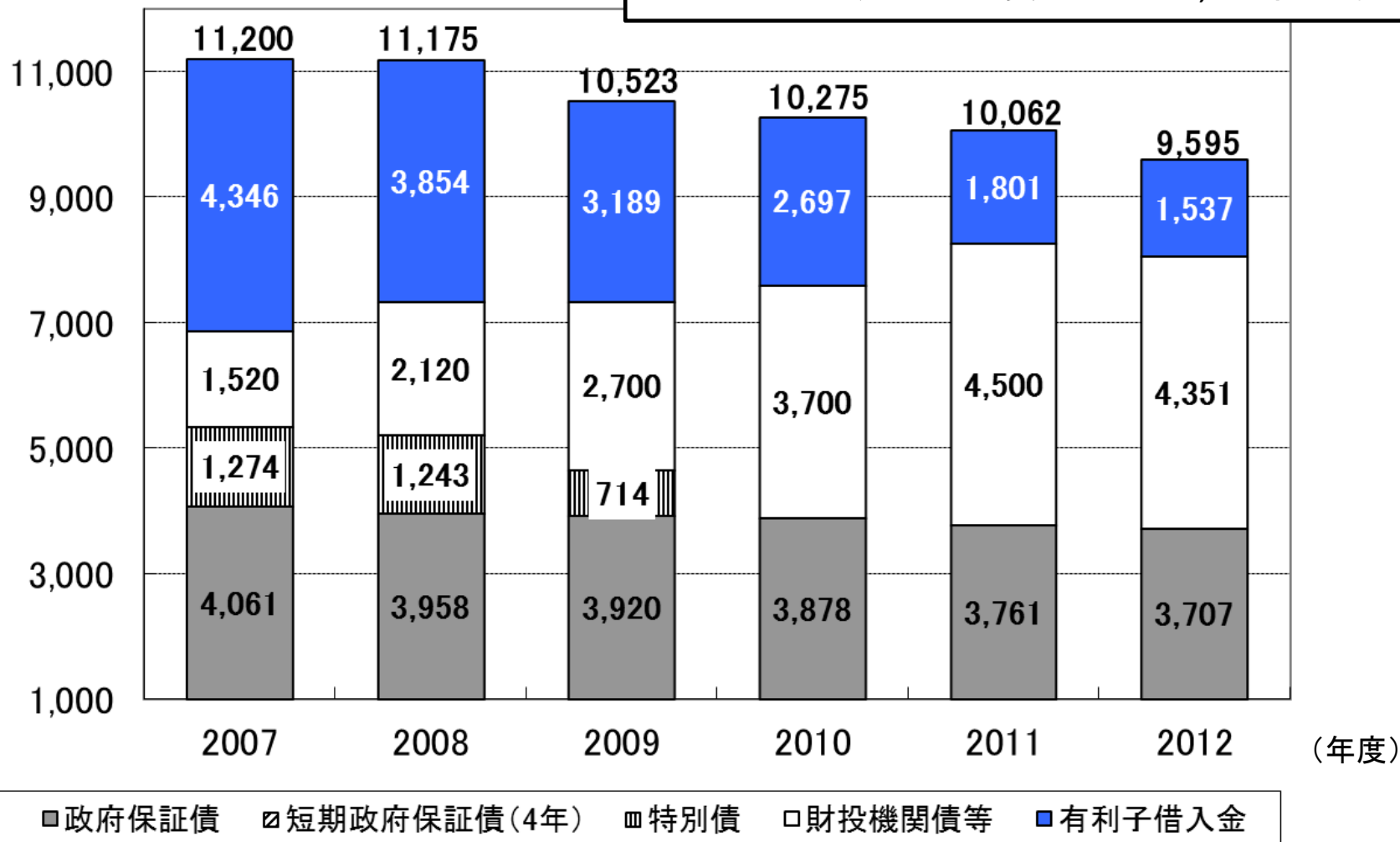
(注1) 億円未満四捨五入。 (注2) 端数処理の関係で、合計が一致しない箇所あり。

7-2. 有利子負債残高の推移(連結)



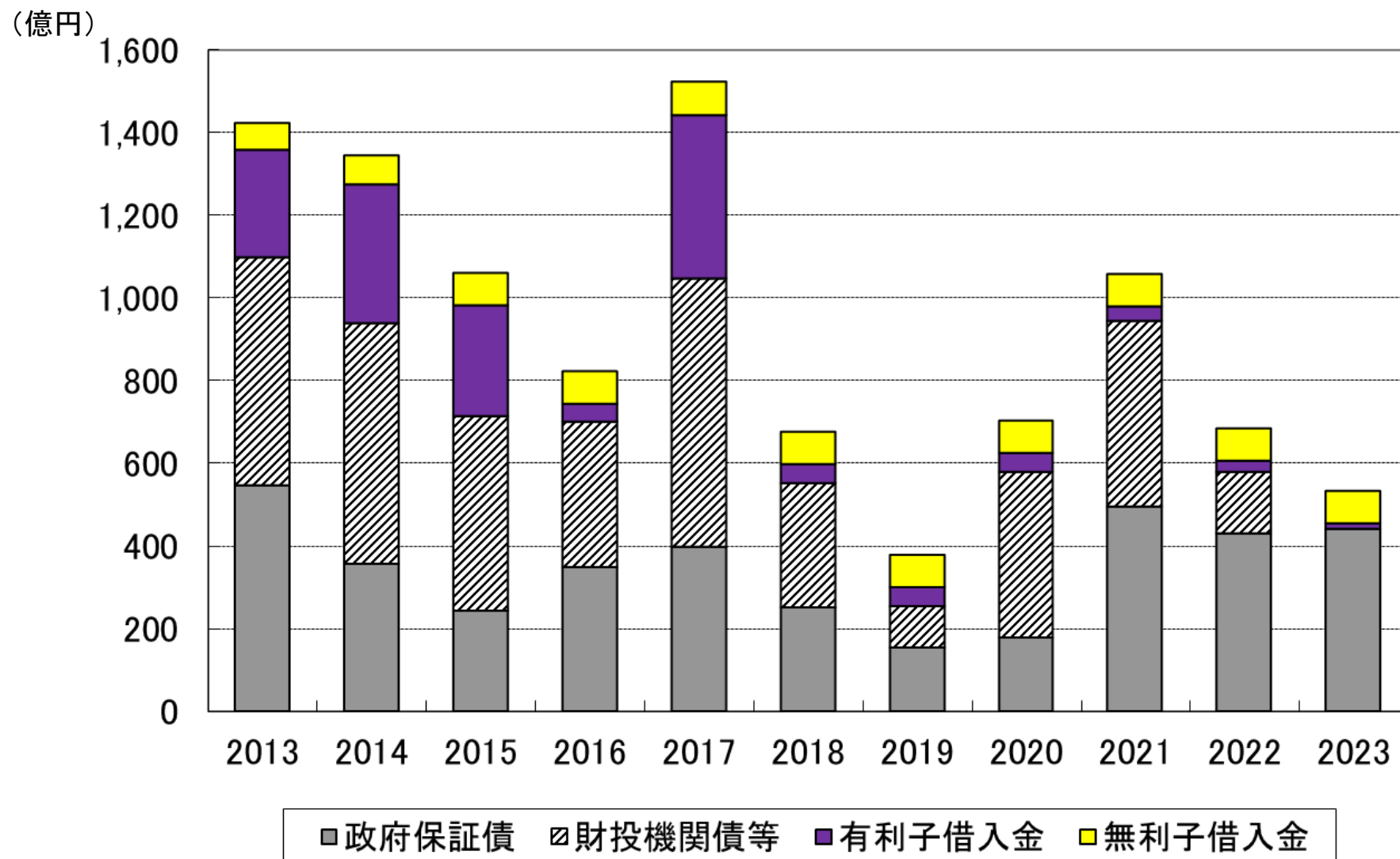
(億円)

ピークは、2003年度末の1兆2,494億円。



(注1)億円未満四捨五入。 (注2)端数処理の関係で、合計が一致しない箇所がある。

8. 今後の債務償還予定(連結)



(注1) 億円未満四捨五入。 (注2) 端数処理の関係で合計が一致しない箇所がある。

9. 2013年度の資金調達予定



<2013年度 事業計画ベース>

区分	金額(億円)
政府補給金	40
政府保証債(10年)	440
財投機関債 等	840
合計	1,320



10. 弊社に対する格付

○日本格付研究所[JCR]

⇒長期優先債務格付:AA

○格付投資情報センター[R&I]

⇒発行体格付:AA-

○ムーディーズ・ジャパン

⇒長期債務格付:Aa3

※ムーディーズは、当社を含む政府系機関が発行する債券に対し、日本国債と同等の格付を付与。

全ての格付について、
統合前の関西国際空港(株)へ付与されていた格付と、変化なし。

【本説明会に関するお問い合わせ】

新関西国際空港株式会社 財務部 資金グループ

<TEL>072-455-2126

<FAX>072-455-2044

<住所>

〒549-8501

大阪府泉佐野市泉州空港北 1 番地

<ホームページ>

<http://www.nkiac.co.jp/> [新関西国際空港（株）]

- ・ 本説明会は、弊社の2012年度決算等について、投資家の皆様に情報提供することを目的とするものであり、債券の募集または売出を意図したものではありません。
- ・ 本説明会の資料にあります、将来の予測や見通し等に関する事項並びに数値は、不確定な要因を含んでおり、将来の業績を保証するものではありません。